

市民の生命と
財産を守るため

小野市消防大会開催



整列して指示命令を聞く
消防団員と女性消防隊



交通事故の救出訓練



一斉放水訓練

第337回
3月定例会

4月10日、約800人が参加、小野市消防大会を開催。市民を災害から守り、安心して暮らせるまちづくりのため、日ごろの訓練と防災啓発にとりくむ消防関係者

主な内容

- ・一般質問..... 2～6ページ
井上日吉・鈴垣 元・山中修己・松井精史・
井上 熙・竹内 修・藤本修造・松本英昭の
8議員が26項目を質問
春名良兼・川名善三2議員が6項目を質疑
- ・各常任委員会の審査..... 6ページ
- ・議案質疑..... 7ページ
- ・予算特別委員会の審査..... 8ページ

第337回3月市議会定例会は、1日から25日まで、25日間にわたり開催しました。

はじめに、市長から「子育て支援など福祉の充実」、「夢と希望に満ちた教育の展開」、「安全・安心の確保」「協働と参画のまちづくり」「ガーデニングのまちづくり」を重点項目に掲げた平成17年度の市政に取り組む所信の表明があり、続いて平成17年度一般会計予算、特別会計予算、企業会計各予算、平成16年度補正予算、条例制定、人事案件、意見書案など32議案を原案どおり可決しました。

三月定例会

一般質問発言者

井上 日吉 議員

- ・普通財産について
- ・農地の有効利用について
- ・安心して暮らせるまち小野について

鈴木 元 議員

- ・アウトソーシングと人事管理について
- ・災害の教訓と対策について
- ・らんらんバスの運行について
- ・雇用施策について

山中 修己 議員

- ・指定管理者制度について
- ・公務員の手当、福利厚生 of 厚遇問題について
- ・八ヶ池の周辺整備計画について

松井 精史 議員

- ・特農産物の推進について
- ・職員採用について
- ・一問一答について
- ・ごみのないまちをめざして

井上 照 議員

- ・市民病院の救急搬入について
- ・うるおい交流館エクラの管理運営について

竹内 修 議員

- ・観光資源の活用について

・防犯灯について

・地球温暖化防止策について

藤本 修造 議員

- ・小野市の「まちづくり」について
- ・地球にやさしい環境づくりについて
- ・「北京の蝶々」について

松本 英昭 議員

- ・「おの検定」について
- ・指導力不足教員への対応について
- ・教員FA制導入について
- ・教職員殺傷事件の対応について

質疑発言者

春名 良兼 議員

- （7ページに掲載の質疑）
- ・議案第二十一号小野市福祉医療助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

川名 善三 議員

- （7ページに掲載の質疑）
- ・議案第一号平成17年度小野市一般会計予算について

（一般質問・質疑は発言した

議員が編集しました）



問 これまで農地法に抵触した事例はどのくらいの数ですか。

答 農家台帳が電算化システムへと移行しました平成七年度のデータをもとに調査しましたところ、農地転用許可を得ずに農地以外に使用している無断転用農地で、他法令との関係では是正指導が困難な件数は十三件あります。
（農業委員会副会長）

問 昨年、小野市は、台風18号23号による被害を受けました。これらの経験から災害に対してどんな取り組みをされていますか。また、加古川が増水しましたが、この取り組みについても伺います。

答 台風被害の取り組みは、国、県関係対策会議に出席し、災害時のデータの収集を行うとともに、市独自で河川や土砂崩れの被害状況を集め、原因の究明に取り組ん

新生クラブ

井上 日吉 議員

でおります。

台風で経験しました風水害はもとより地震などの自然災害の対応に積極的に取り組むために、17年度予算には防災備蓄倉庫の建設などに災害対策経費を計上しておりますほか、避難場所に指定している各地区のコミュニティセンターへの備蓄品の配備についても検討しております。
（市民安全部長）

問 大部小学校前道路の交通安全対策は。

答 大部小学校前の南北方向に走る市道には、60メートルおきに三箇所の横断歩道が設けてあります。大型車は通行できませんが、小型車は通行することができます。
かねてから地元と学校関係者からの要望もあり、周辺住民の方々の理解を得まして、本年度から児童の安全を配慮して、路面に凹凸を付設し、自動車のスピードを抑える方法をとっております。

（地域振興部次長）

アウトソーシングと 人事管理について

日本共産党

鈴 垣 元 議員

生じないか。

問 アウトソーシングとは、自治体が担ってきた「公共サービス」を民間に解放し、営利企業が参入して、利潤をもとめて競争する対象にすることをいう。現在、小野市では指定管理者による「うるおい交流館エクラ」と「温泉ゆびか」の二施設があるが、これらはNPOと公益法人であり営利企業とはいえない。アウトソーシングの評価と将来の対応について伺いたい。

答 アウトソーシングは、限られた財源で必要な公共サービスを提供しつづけるため必要な手法と評価しているが、どんな事業でも良いというものではなく、官がするもの、民でも可能なもの、公務員資格の有無など、区分が必要です。選別の価値基準は、住民の平等利用の確保、施設効用の最大化、管理経費の縮減、管理を安定的に行うための物的・人的能力の保有等等です。(企画政策室長)

問 近年、正職員の採用が極端に減っている。将来、市政執行に問題は

答 採用の基本的な考え方は、技能労務職の退職者の補充は委託等で、事務職は退職者の七割以内とし、今後五年間で十七名の減員を想定しており、その数であれば将来の市政執行に問題はないと認識しています。(総務部長)

問 小野市でも臨時職員増による不安定雇用化がすすんでいるが、若者の生活基盤の不安定化、少子化を進める要因になりかねない。そうした問題解決の責任を負う立場にある行政として矛盾しないか。

答 地方公務員も任用、勤務形態の多様化が進んでいます。臨時職員の採用は、能力のある方々に雇用の場を提供し、六カ月を基本として、三年間勤務も可能となっております。部分的ではあるが不安定雇用のカバーを図っております。(総務部長)

指定管理者制度について



問 平成15年に公の施設管理制度が改定され、公共団体が指定する者(「指定管理者」)に管理の代行をさせることができることになりました。小野市は「ゆびか」、「エクラ」双方の施設を指定管理者に移行しておりますが、他の施設の移管計画・雇用問題等について伺います。

答 対象施設は現在外郭団体(都市施設管理協会)に委託している総合体育館、ひまわりの丘公園、伝統産業会館など約50施設と、直接市が管理している施設があります。移管計画については施設の設置目的、機能、施設の特性等を考慮し、平成17年度中に管理者の選定・指定を行い、平成18年4月から移行したいと考えています。また、現在受託している公的セクターが指定されない場合の雇用問題について

市民クラブ

山 中 修 己 議員

は市と該当団体がともに対応し、解決していくべきものと考えております。(総務部長)

公務員の手当厚遇問題について

問 新聞紙上を賑わしている公務員の手当、福利厚生等の厚遇問題について、当市は全て解消済みであると聞いています。具体的な廃止時期・コストダウン額について伺います。

答 制服の廃止及び特殊勤務手当・通勤手当・旅費の改定を平成14年度から、55歳昇給停止を平成15年度から、定年退職時特別昇給の廃止及び調整手当の引き下げを平成16年度から行ってきました。また、特別職及び教育長は期末手当の減額を平成14年度から実施しており、これら全体で年間約七千万円のコストダウンとなっております。(総務部長)



問 パッションフルーツを

小野市の特産品に

答 果実の小野うまいもんブランド認証品を模索しています。



小野市では、現在パッションフルーツ栽培にチャレンジしており、産地化の適否は決まっていませんが、

特産品の一候補として推進してまいります。
(地域振興部次長)

問 野菜団地計画は

答 農業の生産性、農家の増収を図るうえにも、野菜団地は不可欠です。それにはまず、小野市ブランドをもち、野菜の産地化計画、ガーデニングビレッジ、果樹園、

新生クラブ

松井 精史 議員

観光農園構想をつくるとともに市民と企業、県、JAに協議を図りながら検討していきます。
(地域振興部次長)

問 職員採用は

答 市行政の推進には職員採用が必要ですが、行政も経営であり、外部委託や職員以外での業務分業を図ってまいります。そのためアドバイザーの任用、専門的な知識を持った学術政策員等期限付採用方法による若年者の雇用の創出等、幅広い人材を求めてまいります。
(総務部長)

問 クリーンキャンペーンを年2回に

答 区長会、保健衛生推進協議会の主催で実施していただいています。「のじぎく兵庫国体」を契機にみなさんのご理解とご協力により、あらたな環境美化活動が実現できるように取り組んでまいります。
(市民福祉部長)



問 市民から信頼され、愛される病院、良質で効率の良いサービスの提供をさらにすすめる救急車の搬送・苦情処理の対応は

救急車の搬入

答 消防署の救急要請に対応した患者の受け入れをすばやくするために、院内携帯電話に直通で常時通話ができるようにしています。受付の一本化と救急車からの最新情報は看護部長へ直接入るシステムとなっております。これにより速やかに医師、看護師、技師がスタンバイし、万全の受け入れ体制をとっています。
(病院事務部長)

救急車の搬入率

答 救急車による市民病院への搬入率は、平成16年で一千五百九十九人、うち小野市民病院へ八百一十二人、率にして五十一・四パー

民主クラブ

井上 熙 議員

セントです。救急搬送による病院の選定はかかりつけ病院に、また、特殊診療が必要な場合は特殊診療ができる病院を選定しております。そしてこれまで以上によく搬送先を説明して救急活動の充実に図っていきます。
(消防長)

苦情処理

答 市民病院に対するご意見・苦情はここ二年間で百三通ありました。内容は、施設環境の改善、診療体制、職員の態度などについて、また、よくしてもらったとお礼もありました。これらを院長、部長を中心としたスタッフが、調査、事実確認を行い具体的な改善策をつくり、予算の計上をして、対処しております。とくに住所、お名前を記入していただいたご意見には改善事項など病院の考えを送付させていただきました。さらに、よりよいサービスに努力をそいでいきます。
(病院事務部長)



公明党

竹内 修 議員

問 更なる観光を発展させるために
点在する名所旧跡を線で結ぶ構想に
ついては

答 ひまわりの丘公園は百万人、
白雲谷温泉「ゆぴか」は四十万人
ですが、一年間を通して多くの人
たちが小野市へきていただいでい
ます。それぞれの観光資源は訪れ
る人達の感性によってさまざま
あり、ニーズを調査し、適切な施
策が必要であると考えます。観光
協会等とも連携を密にし、観光資
源を有効に活用してまいりたいと
考えます。
(技 監)

問 京都議定書の発効について、
一点目、水銀灯が主流の防犯灯を温
暖化防止の意味を込めてナトリウ
ム灯の採用は
一点目、温暖化防止に対する市の取り
組みと、市民に対する取り組みは

答 小野市では、ナトリウム灯は、
設置していませんが、今後、各町
から防犯灯の設置要望などがあり
ましたらナトリウム灯も紹介した
いと思います。
(市民安全部長)

答 市としては、平成十一年度を
基準に低公害車の占める割合を十
パーセント以上とするために努力
してまいりました。また、保有台
数を十台減少し、百十六台にしま
した。さらに、更新時には軽自動
車を積極的に購入し、現在低排出
ガス認定車の割合は、十二パーセ
ントとなりました。
(総務部長)

答 市民には、市広報に「ハート
フルクリーン作戦おの」として
46回連載しました。今後も「循環
型社会」をめざし環境紙面及び、
ホームページから情報を発信して
環境の大切さを啓発し続けます。
(市民福祉部長)



市民クラブ

藤本 修 議員

問 地域づくり協議会の成果は

答 権限と経費を地域に委ね、地
域のために自由に活動する地域主
導型を取り入れました。当初、地
域もコミセン職員もとまどい、従
来の行政主導型になった部分もあ
りましたが、参画と協働のまちづ
くりの方向に確実に歩み始めた
と評価しています。
(教育委員会次長)

問 スクラップアンドビルドは

答 『変革と創造』を実践するた
めにスクラップする事業は、勇気
をもって決断し実行することが絶
対条件だと考えています。
スクラップ側の意識改革と説明
責任を伴いますが、団体、参画市
民とのコミュニケーションを図り
行政と市民の相互理解と信頼を高
めなければならぬと認識してい
ます。
(企画政策室長)

問 地球にやさしい環境づくりは

答 温室効果ガスの排出を抑制す
る都市基盤づくり、木材資源の有
効活用、植林、里山林の整備、森
林の保全・整備、都市の緑化対策、
地球温暖化対策やエネルギーに関
する教育、民間団体の支援を行い、
情報発信や広報活動の充実が大切
であると考えています。
(市民福祉部長)

問 市組織について

答 行政組織のあるべき姿は、「組
織があつて機能がある」のではな
く「機能があつて組織がある」と
いうことを常に認識すべきと心得
ます。人材育成を基本に職員のや
る気を喚起できる組織、グルーブ
制の拡大を含め柔軟性をもって、
かつスピーディに的確に業務遂行
を図り、組織の業務生産性の向上
を実現してまいります。
(市長)



新生クラブ

松本英昭議員

問 教員F A（フリーエージェント）制導入の考えは

答 F A制は教員の異動希望があったときに、学校長が教員と面談し、その結果を教育委員会に報告します。この人事制度は、人事の一部を学校長に委ね、学校の活性化を図るとともに教員のやる気を引き出すとする制度であります。

小野市の場合、教員の異動希望をまとめ、教育委員会が仲介して校長と協議して決めるやり方であり、F A制が校長と教員の直接交渉によって決めるというところが違いがあります。いずれも目指すところは同じであることから考えると、実施中あるいは実施予定の京都市や横浜市に比べ、小学校8校、中学校4校、養護学校1校で、教員が三百名程度の本市においてやるのがいいのかどうかこれから研究していく必要があると考えています。

（教育長）

問 六月実施の市民検定の内容は

答 ハートフルチャレンジ検定は、小野市独自の検定テキストを使用し、児童と保護者がいっしょになって家庭で勉強してもらい家庭学習の習慣を定着させるとともに、親子、家庭でのコミュニケーションの活性化を図る試みです。漢字・計算の繰り返し練習が、子供だけでなく大人の脳の活性化にも非常に効果をあげておりますことは周知のとおりであります。

これから高齢化社会がやってきますが、この市民検定は、高齢者の頭の健康増進にも期待しております。

市民対象の検定試験は各コミセンにおいて年3回実施予定で、コミセンにおいて百名程度で実施する予定です。

常任委員会の審査報告

三月定例会は、二十四日、総務文教、民生保健、地域振興の各常任委員会を開催し、議案第十四から三十一号について、市当局から詳しく説明を受け、そのあと慎重に審査をいたしました。議案のすべて十八件について、反対討論はなく、全会一致をもって、本会議で可決することが望ましいものと決まりました。

総務文教常任委員会（横山四郎委員長）に付託された九件の議案のうち、議案第十九号職員の勤務時間、休憩等に関する条例の一部を改正する条例の制定については、「条例の施行にあたっては、男女共同参画を推進する上で、幹部職員を始め、全職員の正しい理解の下、該当職員からの請求には可能な限り許可するよう努められたい」

議案第二十六号小野市立コミュニケーションセンター設置及び管理に関する条例及び小野市民会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する等の条例の制定については、「小野市中央公民館をコミュニケーションセンターおの名称変更するのに伴い、その目的、使用料の変更点など、速やかに市民に説明されるよう広報活動に努められたい」との意見がありました。

民生保健常任委員会（河合俊彦委員長）に付託された二件の議案において、特に指摘事項はありませんでした。

地域振興常任委員会（河島喜代美委員長）に付託された七件の議案のうち、議案第二十三号小野市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についての審査において、「北丘工業団地1号公園を普通財産に変更するのであれば、未利用地として所有することなく、すみやかに売却するなど、その処分についても検討されたい」

議案第二十五号小野市農業委員会の選挙による委員の選挙区及び各選挙区において選挙すべき委員の数に関する条例及び小野市農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例の一部を改正する条例の制定については、「農業委員会委員定数条例の改正については、選挙区の区域表に旧小野町、旧河合村等と市制以前の地域名を使用しており、旧地名でないこととあらわれない理由からであるが、できるかぎり現在使われている地域名で表現するほうが望ましいと思われる」との意見がありました。

日本共産党
春名良兼 議員の質疑

議案 質疑

公明党
川名善三 議員の質疑

問 小野市福祉医療助成に関する条例の改正については、福祉充実型となっており高く評価できますが、一方で老人福祉医療費の個人負担割合が増加しています。
その理由は。

答 老人医療費の個人負担割合、所得制限等に応じた現行の1割もしくは2割負担を、県の制度改正に基づき原則2割負担と改正するものです。

老人医療受給対象の65歳から69歳までの方(1割もしくは2割負担)と、64歳までの方(3割負担)の負担の格差が拡大したこと、一定の負担額であった70歳以上の高齢者負担割合が、1割もしくは2割負担に増加したことを踏まえ、医療費負担に係る世代間の公平と均衡を図るものです。

(市民福祉部長)

問 老人医療費の個人負担はよく議論しましたか。

答 新聞記事によりますと、世帯主一人あたりの収入で見ると、日本の高齢者は豊かなほうではないかと考えます。しかし非常に苦しい高齢者もおられます。高齢者以外でも市の補助を受けておられる方もあります。

高齢者のみなさんに応分の負担をお願いするわけですが、世代間の公平をはかることから、1割を2割にすることにご理解をいただけるのではないかと思います。

今年小野市は県下の市で初の就学前児童までの医療費の無料化に取り組みます。県が改正する制度に対しても、小野市の単独事業としてそのまま制度の維持を図っていきます。

(市長)

問 神戸電鉄近代化事業経費、一千二百五十万円の具体的な内容について

答 鉄道利用者の減少に歯止めをかけ、地域住民の通勤、通学等の足として、安全、快適、利便性の向上を図るための経費です。

これは神戸電鉄株が平成17年度国の近代化設備補助事業を実施するために、市が随伴補助分として一千二百五十万円を計上したものです。内容としては橋梁補強、踏切障害物検知装置、枕木のコンクリート化、電車の冷房設備等です。
(企画政策室長)

問 市民会館大規模改修事業費一億四千万円の改修計画の内容について

答 昭和49年に建築の市民会館、中央公民館は、すでに30年以上経過しており、老朽化が進んでいます。段差がある小ホール、見えにくい場所にある事務室、各部屋で温度

調節ができないことなどの問題点があります。

これらの不便性を解消し、外観を美しく塗装するなどの改修を2年計画で行うものです。

17年度は、建物全体の外壁塗装と屋上防水工事、小ホールの床面を平面化して事務室とコミュニケーションホールに、空調機も部屋ごとに調節し、エレベーターも改修します。現在の事務室は、コピー機、パソコン、印刷機、紙折機等を設置し、地域の活動団体が自由に会議や事務作業ができるコミュニケーションに改造します。

平成18年度は、コミュニケーションターおのとなる1階から4階の各教室の内装や電気設備の改修、空調機工事等を計画しております。美しい建物、使いやすい施設として、リニューアルし、より市民に親しまれる施設にしたいと考えています。

(教育次長)

今期市議会で可決された主な議案

市長提出議案

・平成17年度予算

総額	388億4,390万円
《一般会計》	89億7,000万円
《特別会計》	109億800万円
《企業会計》	89億6,590万円

【新年度の重点施策】

《子育て支援など福祉の充実》

- ・小学校就学前までの乳幼児医療費の無料化
5,500万円
- ・医療費助成制度における個人負担金無料の継続
1,700万円
- ・敬老祝金の増額2,455万円、アフタースクールの充実
4,590万円

《夢と希望に満ちた教育の展開》

- ・小野中学校校舎改築事業 5億7,050万円
- ・小、中学校が連携した教育の推進 500万円
- ・図書館の連日開館の実施・夏期開館時間の延長
546万円
- ・来住小学校プール改修 2,000万円

《安全・安心の確保》

- ・安全・安心パトロールの拡充
1,540万円
- ・防災資機材の備蓄倉庫整備 3,355万円
- ・旧衛生センターのごみ焼却施設の解体撤去
1億5,950万円

《協働と参画の実践》

- ・うるおい交流館エクラの本格的稼働
1億2,500万円
- ・コミュニティセンターおのの開設 1億4,000万円
- ・コミュニティセンター下東条の改修 1億3,000万円

《「ガーデニングシティおのの」の推進》

- ・花と緑あふれるガーデニングの推進 1,130万円
- ・ガーデニングボランティアの拠点施設の整備
1,536万円
- ・JR加古川線の駅周辺整備 7,000万円

意見書

- ・基本的人権を保障する実行措置を求める意見書



予算特別委員会審査

予算特別委員会

横山四郎 委員長
河島喜代美 副委員長

新年度予算一般会計、特別会計、企業会計総額388億4,390万円(前年度比2.6%増)の予算審査を3月15日、16日、22日に行いました。

全ての予算は、採決の結果、全会一致で原案どおり可決すべきものとして、本会議で委員長から審査結果の報告をいたしました。

審査では、低迷する経済状況とともに国の三位一体改革が財源確保に影響を及ぼしており、平成17年度は福祉、教育を重視した積極的な予算計上となっているが、予算執行に際し各部署それぞれに工夫を重ね、一段とコスト削減に努力され、引き続き、徹底した合理化による健全財政を維持しつつ、さらに住民福祉の向上に務められたいなど、活発な意見・質問がでるなか、慎重に審査を行いました。

また、市民の多様なニーズに迅速・的確・フレキシブルに対応され、更なる市民サービスの向上と効率的な執行に、引き続き取り組んで頂きたい。社会経済情勢の変化を的確に踏まえられ、経費支出の効率化を図りながら、引き続き健全財政を堅持され、魅力、活力、個性に富んだ「安全・安心なまち」、ガーデニングシティおののの推進による「美しいまち」、「誰もが住みたいまち」の実現をめざし、全庁・全職員が一丸となって、力強く市政を展開するよう要望しました。

5月の予定「臨時会」を開きます

5月13日(金) 午前10時 開会

提案説明、役員選出